



横浜市立一本松小学校

学校だより

11月号

令和4年10月31日
横浜市立一本松小学校
校長 高桑 透

ひゃっかりょうらん 「百花繚乱」

副校長 杉山 嘉子

『492対496』

『一本松オリンピック』閉会式での成績発表、一本松小学校の校庭に広がった緊張感。会場中が校舎の2階に取り付けられた得点板に集中したとき、それが成績発表その瞬間でした。奇跡的な僅差の勝負。勝ち負けの喜びや悔しさを超えて、2日間にわたる『一本松オリンピック(運動会)』の閉幕に、仲間の頑張りに、そしてこれまで頑張ってきた自分自身に賞賛の拍手が送られました。

一本松オリンピックで見た子どもたちの姿。まさに「百花繚乱」

百花繚乱とは、「いろいろな花が咲き乱れること」転じて「すぐれた業績や人物が一時期にたくさん現れることのたとえ」です。先日現役最後のレースを終えたスピードスケート500mの金メダリスト小平奈緒さんは、「2018年平昌冬季オリンピック」日本選手団の主将を務めました。小平さんは、日本選手団のテーマを「百花繚乱」と表現し、最後に「選手たちはそれぞれの舞台上、それぞれの思いを胸に強く、最後まで戦い抜いてきれいな花を咲かせてくれました。」と締めくくりました。一本松小学校の子どもたちの姿も、まさにこの表現がぴったりだと感じました。子どもたちの輝きが随所に見られた一本松オリンピック。勝ち負けの終着点だけを見つめるのではなく、その積み重ねのプロセスを楽しみ、今までの自分を超え、自身の変化や成長を実感する体験を重ねることが、自己肯定感、そして人間性を高めていくことにつながるのではないのでしょうか。一本松オリンピックで灯した心の炎を絶やすことなく、チャレンジする一本松の子どもたち。これからの頑張りにも期待しています。

今年度も残り5か月となります。子どもたち一人ひとりが、それぞれの頑張り・輝きを見せられるよう、職員一同、全力で支援していきます。地域・保護者の皆様、今月もよろしくお願いいたします。